

研究打ち合わせ & 情報共有

金泉大介 (Daisuke Kanaizumi)

2019 年 11-12 月, @柏木研究室, 数学応用数理専攻

本発表の流れ

- ① よくある誤解
- ② よくある批判
- ③ 2020 年の目標

よくある誤解

最近こんな連絡が頻繁に来る.

"君のやっている分野は最近話題になっているよね !!!"

"Google, IBM でも研究されているよね !!!"

これは冷やかashiではなく,

quantum calculus (q -calculus, 私の得意分野) = quantum computing

という誤解が原因である.

- そもそも calculus \neq computing である
- quantum calculus: q を量子に見立てている (量子もどきを含めて quantum と呼んでいる)
- quantum computing: quantum を物理的な意味でしか使っていない

(参考) 量子と名のつく数学用語

量子可積分系 (サイエンス社から入門書が出ている), 量子逆散乱法, 量子群, ...

ちなみに soliton cellular automaton \times quantum computing という研究はある¹.

¹由良文孝. (2001). ソリトンセルオートマトンと量子コンピューティング (離散可積分系の研究の進展: 超離散化・量子化).

よくある誤解

最近増えた誤解

- 無職無給の遊び人だと思われているらしい !?
- でも本当にそうなら学会などに行けるはずがない
- 業務委託契約 → core time がなくなる (時間に縛られなくなる)
- remote work → 場所にも縛られなくなる (出勤不要)

まんてんかい

瞞天過海 (孫子より)

物事を習慣的に見慣れさせて裏で本来の目的達成を容易にする。

表向き

遊んでいるように見える

裏

戦略的な情報収集 → 研究・教育に役立てる

よくある誤解

昔からよくある誤解

- 「Aさんと仲良くした方がいい」という助言を良くいただく
- 人として当たり前のことができないと思われる !?
- 「Aさんと仲良くしたい」と思うなら Aさんの利益に貢献しないといけない
- そのためには使えるものは何でも使わなければならない
- 誰であろうと利用しなければならない → いろんな人と仲良くした方がいい

よくある批判

よくある批判

「学位が欲しいなら論文博士でいいだろう」

対処 (研究 + α)

- 教育に従事・貢献する
- 研究室運営に可能な限り貢献する (Slack など)

2020 年の目標

国際学会

- SCAN 2020 で発表したい !!!
- しかし最後に口頭発表したのは 2 年前で, poster 発表は 3 月が最後
- 当然ながら Rehabilitation が必要になる
- NAS 2020, JSIAM 等で練習した方がいいかも

arXiv 投稿

- 学位取得の要件を満たす業績ではない
- しかし DC2, ORCID, ResearchGate などでは活動の一つとして記載できる
- 「何もしないよりはまし」

却下した私案

投稿するなら title を決めないといけない.

却下した私案

(q -) 特殊関数の精度保証付き数値計算

問題点

- 範囲が広すぎる
- 誇大広告